



各社の障害者雇用の課題などについて意見を交わしました

この日の「みやぎSDGs塾」標準コースでは、宮城県の職員として障害者雇用を担当する齋藤誠さんの講話を聞き、これからの共生社会のあり方について考えを深めました。

齋藤さんは、企業に障害者雇用を義務づける制度の理念や、県内の実際の雇用状況などについて解説。さらに、障害者雇用を進める企業に対する県の支援事業、障害者雇用プラスワン事業を紹介し、「障害者雇用の促進、安

宮城県 障害者雇用プラスワン事業

企業のみならず、**障害者雇用をサポートします!**

プラスワン事業では、障害者雇用に関する様々な知りたい・わからないにお答えし、それぞれの企業に寄り添った最適な支援をご提案します

支援のポイント

企業に障害者雇用に関する課題を把握し、最適な支援策をご提案します。

企業に障害者雇用に関する課題を把握し、最適な支援策をご提案します。

プラスワンにはこんな支援をご提案

企業に障害者雇用に関する課題を把握し、最適な支援策をご提案します。

企業に障害者雇用に関する課題を把握し、最適な支援策をご提案します。

企業に障害者雇用に関する課題を把握し、最適な支援策をご提案します。

宮城県の支援事業「障害者雇用プラスワン事業」の案内チラシ

誰もが働きやすい「共生社会」とは

8月25日、河北新報社で「みやぎSDGs塾」の第2ターム後期・第4回講座が実施されました。参加者は障害者雇用に関する学びを通して、共生社会のあり方について考えました。

定した就労の実現のため、さらなる協力を」と呼びかけました。参加者はこまめにメモを取るなどしながら熱心に耳を傾けました。

講話後、参加者からは、所属先の雇用状況についての報告や、雇用する際のノウハウを企業間で共有する提案などが相次ぎました。「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に基づく協力体制の重要性があらためて感じられる時間となりました。



今後取り組みたいSDGs活動についてグループ内で発表しました

「標準コース」の後半では、今後取り組んでいきたいSDGs活動について参加者それぞれがワークシートにまとめ、その内容を4〜5人のグループ内で発表し合いました。

自分の考えを言葉にしてみる

優しい地域社会をつくる一助に

障害の有無に関わらず、一人一人にはさまざまな特性があります。誰もが自分の特性を生かしながら安心して働けるような優しさにあふれた地域社会をつくる一助に私もなりたいと、「みやぎSDGs塾」での学びを通してあらためて感じています。



日建リース工業 工藤雅人さん

参加者の声



「わたしのSDGs活動宣言」執筆に向け考えをまとめる参加者

参加者は「他社を見学し、社内啓発の試みに感銘を受けた。自社でも取り入れたい」「SDGs塾」で生まれたつながりを生かして、自社の取り組みを今以上に発信していきたい」「家族との食生活を通してフードロスについて考えたい」など、学びを通して深まった思いや気づいた視点を言葉にしました。

さらに一同は、講義「伝わる文章の書き方」で読みやすい文章を書くコツや効果的な見出しの付け方などについて研修しました。

参加者はこの日の学びと考察を踏まえ、「みやぎSDGs塾」の最終課題である「私のSDGs活動宣言」を執筆することになります。

みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!



賛同企業 募集中!!



【申し込み・問い合わせ】
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

実践コース 「仙台長町未来共創センター」の訓練から学ぶ



仙台長町未来共創センターでの「帰宅困難者対応訓練」の様子

仙台市は「仙台市SDGs未来都市計画」で「防災環境都市」の推進を掲げています。実践コースでは今後も、防災機能を備える同センターと地域の人々との持続的に結びつけるアイデアを共有し、実践の場に生かしていきます。

この訓練では、帰宅困難者対応指針等に基づき、帰宅困難者の誘導をはじめ、一時滞在場所への案内や受入対応など災害時の行動ルールの検証と関係機関の協働による対応策の確認を行います。同センターは、長町駅周辺の一時滞在場所に指定されており、訓練を通じて新たな課題の抽出もできそうです。

「防災環境都市」推進へ 官民連携の取り組み

アイデアを出し合いながら、参加者同士で課題を深掘りする「みやぎSDGs塾(実践コース)」。今回は、各社の取り組み事例を発表しました。

フクダ・アンド・パートナーズは、仙台市、東北大学災害科学国際研究所、丸和運輸機関との4者間で、地域における企業防災及び災害時支援等に関する協定書を締結しています。同社の阿部真美さんから、7月13日に「仙台長町未来共創センター」で自主開催された帰宅困難者対応訓練についてのレポートがありました。

第2ターム参加者(敬称略)

【あすなる学院】佐々木隆太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森丈広【いなかの駅やしまや】八島哲郎【H.Simple Design Studio】小山田陽【エンジェルパサー】杉山昌己【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騒】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】井上雅光【ココ・コーラ ボトラーズジャパン】遠藤巧【コスモ警備】佐藤裕樹【スイコー】斉藤綾子、赤根早咲、千葉哲也、足立光弘【スタイルスグループ】千田佳子、山内好之【竹鶏ファーム】赤淵利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大【チャレンジドジャパン】庄子早紀【日建リース工業】工藤雅人、鈴木健太郎、今田光司【フクダ・アンド・パートナーズ】千葉真紀子、加藤祐、阿部真美【宮城県民共済生活協同組合】多勢剛、関口拓真、細川薫、相澤貴洋、二階堂聡美、鈴木崇史【ミライトス】鈴木圭介【山犬】高橋拓宏、本郷友恵【リコージャパン】内山直人、工藤千穂、志賀友美、坂田健郎、佐藤萌【ワコーファースト商事】若生有加【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】鈴木信廣、千葉よかこ、松井未史【尚綱学院大学】小宮山岬希、菅井百花、遠藤奎汰、橋浦克則【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

都道府県民共済グループ 宮城県民共済 SUIKO 大日本印刷 DNP RICOH 日本製紙株式会社 独立行政法人 環境再生保全機構 尚綱学院大学

みやぎ生協 yamadai F&P あすなる学院 angelpasser エントワデザイン パッケージの専門会社 株式会社 高速 Coca-Cola ボトラーズ JAPAN INC. コスモ警備株式会社

STYLES GROUP 竹鶏ファーム チャレンジドジャパン 日建リース工業株式会社 蜂屋食品 ミライトス株式会社 いなかの駅 やしまや 株式会社ワコーファースト商事

荒町商店街振興組合 YES工房 H.Simple Design Studio オフィス塩騒 WACO CREATE 鈴木信廣 千葉よかこ 松井未史

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA 東北 尚綱学院大学SDGsセンター